

<子どものための地域を知る講演会報告>

「田無村の半兵衛さんと村人たちの世界」

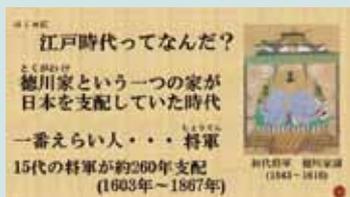
平成29年8月18日

中央図書館にて

ぎょうだ たけあき
講師 行田 健晃さん

徳川記念財団 非常勤研究員
中央大学附属横浜中学校・高等学校 社会科兼任講師

「江戸時代とは？」に始まり、「江戸時代の田無村はどんな所で、人々はどのように暮らしていたのか?」、「名主であった下田半兵衛さんと村人たちの関係は?」、「世直し一揆って?」などのたくさんの疑問について図書館にある江戸時代の田無村の記録も見ながら、学校とはひと味違う解説をしてもらいました。後方で見学として参加された大人の方からも「新しい発見があり有意義だった」との声をいただき、世代を超えて一緒に学べた楽しいひとときでした。



講演会を終えて、講師から図書館にお礼の言葉をいただきましたので、紹介します。

今回、「田無村の半兵衛さんと村人たちの世界」と題し、中央図書館さまにて講演をさせていただきました。私自身初めての試みということもあり、形になるまでに試行錯誤しましたが、当日は市内の小中学生や大人の方にもご参加いただき、私にとっても非常に実りあるものになったと思います。村の歴史を勉強する者の一人として、西東京市の方々に私の勉強の成果をお伝え

きたことを大変うれしく思います。史料から見える江戸時代の村の姿、村のために尽くした名主・下田半兵衛、そして農兵と一揆の人々たち…講演を通して、江戸時代の田無村でいきいきと活動する村人たちの姿を感じ取っていただけたなら幸いです。ご参加いただいた方々、写真提供などでご協力いただいた方々、そして中央図書館の皆様方、誠にありがとうございました。 行田 健晃